

大学院

Graduate School

宮崎大学大学院では、各学部・学科・課程で学んだ知識をさらに高め、専門的な職業に従事するために必要な能力や基礎的な学識を養います。また充実した教育・研究環境を整えることで、学生の研究活動を支援しています。

教育学研究科

高度な指導力を養い、幅広い教育現場で活躍できる指導者へ

【専攻】 教職実践開発専攻(教職大学院・専門職学位課程)

- 教職実践高度化コース ● 教科領域指導力高度化コース
- 特別支援教育コース

教育学研究科教職実践開発専攻では、学部における専門教育又は教職経験の基礎の上に、確かな教育観と幅広い視野を持ち、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、小学校、中学校、中等教育学校、特別支援学校等の高度の専門的な能力及び優れた資質を有する教員養成のための教育を行います。

教職実践高度化コースでは、「教育行政・学校経営分野」、「生徒指導・教育相談分野」、「教育課程・授業研究分野」の3分野から選択し、各分野に関する教育理論を学修します。教科領域指導力高度化コースでは、指導力の改善・検証のみならず、学校現場をフィールドとした実地的・実践的な学びを通じた教科領域の教育に関

する指導力の高度化を目指します。特別支援教育コースでは、「特別支援学校教員の専門的指導力の向上」を目指して、医療、福祉等の外部専門家と連携しながら、医学や科学技術の進歩に対応した指導法や指導技術の習得、研究を推進することが可能となるような授業科目、実習科目でカリキュラムが設計されています。



看護学研究科

生命の尊厳を第一に、ケアの本質を研究する

【専攻】 看護学専攻

- 研究者育成コース ● 実践看護者育成コース

看護学研究科では、変化する地域社会や複雑化する社会情勢のニーズ、さらに、拡大・専門化する看護学や看護学教育の必要性を踏まえ、学部教育を基に更なる能力開発と同時に保健医療福祉の現場で広く活躍できる看護学研究者・教育者・実践者・指導者を育成することを目的としています。また、地域社会のニーズに応えるとともに、学際的思考と国際的視野から、その研究成果を世界に向けて発信することにより看護学の発展に寄与することを使命としています。

①「研究者育成コース」は、看護学の教育者・研究者としての基礎となる能力の育成を行うコースです。②「実践看護者育成コース」は、批判的思考力と高度な問題解決能力を有する看護実践者の育成を行うコースです。



工学研究科

自然豊かな宮崎で未来を切り開く技術者・研究者に

【専攻】 工学専攻

- 環境系コース ● エネルギー系コース ● 機械・情報系コース

21世紀は、新しい知識・情報・技術が社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増す、いわゆる知識基盤社会の時代と言われています。この知識基盤社会においては、個人の人格形成の上でも、社会の発展・振興の上でも、大学院は極めて重要な役割を果たしています。工学研究科は、学部教育を基盤として、高度化・深化した専門知識・技術を身に付け、さらに隣接する関連領域まで俯瞰できる総合的視野を持った想像力豊かな高度専門技術者を養成することを目的としています。この目的を達成するため、1専攻化して3つのコース(環境系、エネルギー系、機械・情報系)を設け、コミュニケーション能力やマネジメント能力の向上を目的とした専攻共通科目やコース必修科目を提供するとともに、専攻内の専攻選択科目を自由に受講できるようにしています。



農学研究科

専門性の深化と国際性豊かな高度専門人材の育成を目指して

【専攻】 農学専攻(修士課程)

- 植物生産環境科学コース ● 森林緑地環境科学コース
- 応用生物科学コース ● 海洋生物環境科学コース
- 畜産草地科学コース ● 農学国際コース

農学研究科は1専攻6コースから構成されており、学部教育の専門性をさらに深化させ、国内外の食料、環境、資源及び生命に関する問題点を解決し、自然環境と調和のとれた持続的生産社会の創造に貢献できるとともに、農学に関する高度な専門知識と応用能力を有する国際性豊かな高度専門技術者及び研究者の育成を目指します。

また、コースのカリキュラムを原則、全て英語で実施する「農学国際コース」を設け、農学専攻(一専攻)の特色を活かし、国際的

に、特にASEAN諸国で重要視されている問題点に対応して、分野横断型課題探求・問題解決型の3つの実践プログラムを提供しています。



医学獣医学総合研究科

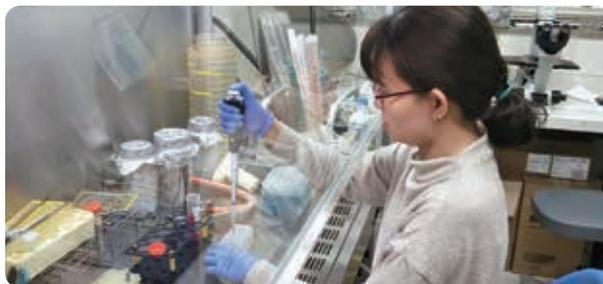
医学と獣医学が完全に融合した全国唯一の修士・博士研究科

【専攻】 修士課程: 医科学獣医科学専攻

博士課程: 医学獣医学専攻

医学獣医学総合研究科は、国内ではじめて医学と獣医学が融合・連携した研究科です。研究科には、修士課程及び博士課程を設置しています。修士課程では、医学・獣医学分野及び医療社会学分野の研究と教育、あるいは高度な診療支援に携わる人材の養成を主眼とし、専門分野に偏らない幅広い基盤的知識の習得、それを基礎とした研究能力を養うことを目的とし、生命科学の発展と社会の福祉向上に寄与することを使命としています。博士課程では、高度専門職業人としての医師、獣医師及び研究者・教育者の養成を主眼とし、医学・獣医学の分野において自立して研究活動

を行うのに必要な高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とし、医学・獣医学の発展と社会の福祉の向上に寄与することを使命としています。



農学工学総合研究科

農学と工学が融合・深化した博士後期課程で最先端の研究を!

【専攻】 資源環境科学専攻

生物機能応用科学専攻

- 環境共生科学教育コース ● 生命機能科学教育コース
- 持続生産科学教育コース ● 水域生物科学教育コース

物質・情報工学専攻

- 新材料エネルギー工学教育コース ● 生産工学教育コース
- 数理情報工学教育コース

農学工学総合研究科は、農学と工学の学問的背景と連携協力の実績を踏まえて、それらが連携・融合した教育研究領域の深化を図ることにより、広範な知識に基づいた総合的判断力と高度な研究能力を備え、技術・知識基盤社会の形成に資する高度専門技術者の養成を目指します。このため、研究科では3専攻を設け、①低環境負荷・持続型生産システムの構築と持続型地域社会が必要とする社会基盤の保全、②動植物・微生物の機能を活かした新規機能性食

品の開発と地域バイオマス資源の有用物質への変換、そして③ナノテクノロジーを応用した機能性材料の創生と自然共生型エネルギーの活用とその変換技術、省エネルギー化・高度情報化された生産技術の開発と高度なソフトウェアを活用した情報処理システムの構築等に関わる教育研究を通じて21世紀の喫緊の課題を解決し社会に貢献します。



地域資源創成学研究科

持続可能な地域社会を創造する高度専門人材へ

【専攻】 地域資源創成学専攻(修士課程)

地域資源創成学研究科は、地域社会の未来を構想し、地域課題解決のソリューション、イノベーションを研究する異分野融合・複合型の大学院です。地域学、地域資源論、地域資源利活用論の3つの領域で構成される教育研究を通じ、地域に賦存する多様な地域資源の利活用から新しい創造的価値の創出を行い、今後の社会経済環境の変化に対応可能な強靱で持続可能な地域社会の形成を推進・実現することが可能な高度な専門性を確保した人材を養成します。

